

## 難波地区タウンミーティング

平成24年8月29日（水曜）

【市長】 皆さんこんばんは、今日は平日の夜間でございますのにこのようにたくさんの方がお集まりをいただきましてありがとうございます。この難波地区のタウンミーティングの開催に当たりましては、難波地区広報委員会の長野会長さんをはじめ地区の役員の皆様のご協力をいただきました。誠にありがとうございます。さて、このタウンミーティング、私が就任をしてから始めさせていただきました。松山市は41地区に分かれます。その地区ごとに開催をしようと思いましたが、市役所で職員はおりまして皆さんが来てくださるのを待てるほうが楽です。それで本当にいいのだろうか、我々が地区に出て行って皆さんのお声を聞かせていただくのが大切ではなかろうかということで始めさせていただきました。そしてここに書いてありますように、タウンミーティングの最初は各地区の魅力についてお話をさせていただきます。なぜかと言うと、それぞれの地区でそれぞれの歴史があります、特徴があります。そういう歴史、特徴、文化を活かしたまちづくりをすることが大事です。例えば、行政が主体になってまちづくりをしたならば、いわゆる金太郎あめのような地区が41できる。その41の集合体である松山市は本当におもしろくない市になってしまいます。そうではなくて各地区の特徴、歴史、文化を活かしたまちづくりをするとより輝く、その41の集合体である松山はとても魅力のある市になると思いますので、まず地区の皆さんと一緒に地区の魅力について共通認識を持っていただこう、そしてその魅力を活かしたまちづくりをしていただこうと思っております。そして当然各地区には問題点とか課題があると思いますのでそれについても教えていただく。この松山市版のタウンミーティング、一つ目の特徴、我々のほうから出ていこうっていうこと、もう一つはやりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないのが松山市版のタウンミーティングでございます。もちろん、ここで答えができることはお答えさせていただきますけども、例えば国と絡むもの、県と絡むもの、財政的な問題があるもの、そういったものはいったん持ち帰らせていただいて、こういう方向性でというのを決めて、1カ月をめぐりに地区に返させていただきます。なぜ1カ月の時間をいただくのかというと、国に問い合わせる、国から答えが返っ

てくる、県に問い合わせる、県から答えが返ってくる、そういうような時間がありますので、時間を頂戴したいのですが、1カ月をめどに必ず答えをお返す。いわゆるガス抜きではない、やりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。松山市の仕事は非常に広範囲にまたがります。各専門の課長、企画官、部長たちが来ておりますのでそれぞれ自己紹介をいたします。

【市民部長】 皆さんこんばんは、市民部長の三好と申します。このタウンミーティングを統括しております。普段の業務と申しますと、窓口サービスの提供、例えば市民課でありますとか22支所7出張所、サービスセンター、市民相談課にあります消費生活センター。ほかに地域における住民主体のまちづくり、男女共同参画、人権啓発、こういった幅広い仕事をしております。今日はよろしくお願いたします。

【企画政策課長】 皆さんこんばんは、松山市の総合計画とか、複数の部署にまたがる場合の調整を担当いたしております、企画政策課の河合と申します。どうぞよろしくお願いたします。

【保健福祉政策課長】 皆様こんばんは、保健福祉政策課の津野と申します。国民年金とか国民健康保険に関する事、そして介護保険とかサービスに関する事、高齢者のサービスとか高齢者福祉に関する事、そして保育園とか子育てに関する事、児童クラブに関する事、それから健診とかがん検診、健康相談とか食品の検査など保健所業務を担当させていただいております。よろしくお願いたします。

【都市政策課長】 皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、公園の整備や維持管理を行っております。本日はどうぞよろしくお願いたします。

【生涯学習政策課長】 皆さんこんばんは、教育委員会事務局の生涯学習政策課長の前田と申します。教育委員会事務局では、学校教育をはじめ生涯学習の推進、また文化財保護等、広範囲にわたって教育分野の仕事をさせていただいております。本日はよろしくお願いたします。

【消防局企画官】 皆さんこんばんは、消防局企画官の岡本と申します。火災、救急救助、そして地域防災を担当しております。どうぞよろしくお願いたしま

す。

【市長】 という今日は6人です。これまでにタウンミーティングで出たご意見で、すぐに対応できるものはできるだけ早く、スピード感を持って市政に反映したいと思っております。例えば立岩のタウンミーティングで小学生のお子さんが以前、風早八十八箇所めぐりってというのがあったそうですけども、それがすっかりなくなってしまっているようなので復活させてくださいみたいな意見をいただいて、地元の皆さんのご協力をいただきまして復活させていただいた例もありますので、できるものはできるだけ早く市政に反映していきたいと思っております。今日はかわいい小学生も来てくれているので、よりわかりやすくゆっくりしゃべったほうがいいと思いますのでそういう形でやりましょう。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 本日は、公私ともに大変お忙しい中にもかかわらず市長さんをはじめ市の幹部の方々、難波まで来ていただきまして、意見交換ができること大変ありがたく厚くお礼を申し上げます。はじめに難波地区の実態、特によさ、魅力について、私なりに考えた中から5点ばかりに絞って簡単にお話をさせていただいたと思います。まず第1点ですが、自然あふれるふるさと難波。松山市の北のはずれにありますけれども、松山市と合併してよくなったこともたくさんあります。まず松山北条バイパスの開通、道の駅風早の郷風和里のオープン、北条スポーツセンターの改修、それから体育館の新築などかなり発展をしてまいりました。昨年10月には、地元の方がフジバカマを植えて待っていたところ、渡りチョウのアサギマダラが飛来したというので喜んでおりました。渡り鳥だけかと思ったらチョウまで渡ってくるのがあるということですが、北条の道の駅風和里もチョウまでが飛んできてくれるようになったということですが、また、波妻の鼻から長浜海岸にかけての海水浴場は、市民の夏の憩いの場所になっております。今年も多くの人を訪れ暑い夏を楽しんでおりました。難波の新しい風景でございます。愛媛マラソンが市民マラソンになってから、多くの人に参加するようになりましたが、栗井坂トンネルを越えると「開けるとな北条は、風早は」とよく聞きますが、その北条平野の視界が広がる向こうに難波三山と言われます恵良山、腰折山、新城山、3つの山があります。私らが子どものころは恵良、腰折、難波富士と呼んでおりましたが、新城山の上は3つのでこぼこがありますので、そのように呼

んでおりました。それに向かってマラソンで数千人もの人が走ってくるのを見ておると壮観な景色であります。以上、自然あふれる難波でいろんなすばらしいものがたくさんある。第2点目に、気候温暖で農業の盛んな難波。難波三山を背にして南に開けた難波地区は、気候温暖で風光明媚な田園地帯です。古くから稲作を中心に発展してきた地区で、戦後はナシ、ミカンの栽培にはじまり伊予柑、キウイフルーツ、ブルーベリーといろいろな果物の産地として発展してきました。また、イチゴ、イチジク、庄大根、玉ねぎなどの産地として、風和里の産直市の発展に貢献をしております。上難波、庄地区にある農林水産研究所の施設での研修と指導を受けられるのも難波地区のよさであります。第3点目として、古代文化あふれる難波。さらに文化面でも魅力のある難波地区であります。特に、古墳の多いところとして知られております。国、県や市の指定文化財が多く点在しております。庄地区には奥の谷古墳、これは県の文化財に指定されております、それから薬師堂に保存しております木造菩薩立像、いろいろ名前があるそうですが国の重要文化財に指定や薬師如来像等たくさんの仏像が祭られております。市の文化財めぐりのコースにもなっており、毎年多くの参観者が訪れております。新城山の中腹には多くの古墳が出土されております。風早という雑誌によると、40以上の古墳、これを新城古墳群と呼んでおるそうですが、頂上には巨石群、大きい石があるそうですね。私も数年前に知ったんですが、女神岩、女の神様の岩、男の神様の岩、それから鏡岩などが頂上にあるそうですが、最近松の木が枯れてなくなったので岩も遠くからでも見えるようになりました。旧石器時代から縄文時代の遺跡であるといわれております。古代文化のロマンに満ちあふれております。現在この山には登山道がありません。風和里から新城山の散策道ができ展望台ができれば、忽那諸島をはじめ九州、中国まで遠望でき、松山の最高スポットになるに違いないと思います。これはお金がかかりますのでちょっとやそっとではできないと思いますが。また、江戸時代には、俳人小林一茶が旅の途中で難波に立ち寄ったときに、<sup>こうのさか</sup>鴻之坂から最明寺、高橋邸の道をたどったといわれております。一茶の足跡をたどる散策コース「一茶の道」もつくられ、多くの人が訪れるようになりました。第4点目として、ふるさとの花エヒメアヤメの自生地難波でございます。こんな句がございます。「腰折と いふ名もをかし 春の山」<sup>せんばかそう</sup>仙波花叟さんの句ですが、これは難波地区のマンホールのふたに描かれておりま

す。腰折山は、そこに自生する国指定天然記念物エヒメアヤメの花で知られています。現在、中国、九州、四国の瀬戸内に生育しておりますが、愛媛の難波地区で最初に発見されたので、ほかの県の地区も同じ花をエヒメアヤメと呼んでおります。腰折山は自生南限地として知られ、この花にまつわる哀れな民話とともにコカキツバタの名でも親しまれております。正岡子規の句に「小包に こかきつばたの しほれたる」こういう句がございます。ふるさとの花エヒメアヤメ、コカキツバタまたはタレユエソウは旧北条市の花として知られ、大切に保存されてきました。山野草ブームで一時、山が荒らされた時期もありましたが、松山市になってからも何とか保存しようとしてエヒメアヤメ保存会を中心に高齢クラブの人たちが世話をしております。昨年度から、見学者のために開花中のみ簡易トイレの配慮をしてくださるようになりました。市の関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。毎年、3月末から4月にかけて可憐な花を咲かせます。県外からも見学に来る人がおります。地元に住んでいても見たことがない人が多いので、公民館の活動の一つとしてエヒメアヤメ見学会が行われるようになりました。毎年、数百人の参観者があります。第5点目、最後になりますが、働くことが好きな人が多い難波ということで、多くの魅力あふれるふるさと難波の中でも忘れることができないのは、そこに住んでいる人たちの勤労意欲でございます。働き者の住民が最も大きな宝になっております。昔、難波には嫁にやるなという言葉がはやったそうです。嫁にやったら働かされ通しで休みでも休む人がおらんと、雨が降ったときだけ休むと。今後は住民みんなの人間関係を深めながら、さらに発展するよう努めてまいりたいと思います。人間関係を深める昔からの難波の行事もいまだにたくさん残っております。このようにたくさんの宝を有する難波地区ですので、野志市長の進める「たからみがき」にさらに精を出し、松山市一番の住みよいまちづくりに邁進をしたいと考えております。課題として、ひとり暮らしや高齢者夫婦の家庭が多くなってきました。高齢クラブの世話もしておりますが、心配なこともたくさん出てきております。今後ともその点も含めましてご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げまして、難波地区の紹介といたします。ありがとうございました。

【市長】 はい、ありがとうございました。いろいろと行っていただきました。本当難波はものすごく魅力が多いところだと思います。古墳があるところは愛媛

県でいいますと宇和町にも平たい土地がずっと続くところがありまして、そこも古墳が多いところですが、そういうところは昔から住みよいところなんだろうね。今ほどは人口がいなかったわけですから、いろいろ場所も選べたはずですよ。ですからすごく人が住みやすい、昔から人が住みやすいところに古墳がありますので、やっぱりそういう場所なんだろうと思います。今、山の道のことが出ましたけれども、松山市の桑原地区に淡路ヶ峠<sup>あわじがとう</sup>という、伊藤博文公の祖先が守っていた「～淡路の神」というので淡路ヶ峠っていうところがあるんですけど、非常に景色がいいところなんで地元の方が主体になって道をつけた例があります。それも行政がサポートさせてもらった、そんなやり方もありますので、また参考にさせていただけたらと思います。エヒメアヤメ、実は私まだ現物を見たことがありませんで、1回見てみたいと思っております。これ難しいのが、皆さんが行きやすいように道をつけるとか、駐車場を構えると逆に盗掘の恐れがあるとか、どんどん写真を撮ろうと踏み込んでしまって苗を痛めるということがあるので、この辺があって難しいというのを感じております。またお気軽に言っていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

【男性】 難波小学校でPTAをさせていただいております、よろしくお願いいたします。私は難波小学校を芝生化していただきたいと思っております。といたしますのは、難波スポーツ少年団40年余り続けました。女子の場合は浅海小学校を経て、今現在ミニバスケットで北条小学校で活動しております。男子のソフトボールは現在廃団。松山市合併後、現在難波小学校63人ですがマンモス校にはかなわない。今年結果を残さないとリーグ戦にも入れてもらえないという状況で残念ながら廃団ということになりました。保護者なりにPTAとか諸先輩がスポーツがなくなるのは寂しい、団体で何かできないかということを目にしましたので、いろいろ考えてみると、男女合同でできるラグビーがこの北条地区では妥当ではないかと。野志市長もご存知のとおり、北条ラグビーカーニバルとか、北条地区がラグビーで芽が育ってきてます。難波小学校を芝生化して、ラグビー、ラグビーの聖地で北条北中、北条高校とまた中央へと伸ばしていけたらと思います。以上よろしくお願いいたします。

【市長】 芝生化ですね、はいわかりました。私から冒頭にちょっとお話をしたいのが、気持ちわかります。というのが、どうしても学校が小さくなるともうな

かなか難しいんじゃないかと思われると思うんですけども、必ずしもイコールでないっていうのを覚えておいてほしいんですが、宇和島に宇和海中学校があるんですけども、もう合併間近の海沿いの小さな中学校でした。そこが遊子スポーツ少年団、野球に絞って育成をしてまして非常に遊子、宇和海中学校は野球が強かったんですね。今年の高校野球の宇和島東高校のエースで活躍した中川君は宇和海中学校の出身、松山商業でエースとして活躍した堀田君は宇和海中学校の出身だったので、いろんなスポーツで割り算すると少なくなっちゃいますから難しいと思うんですけども、何かに絞るとマンモス校にはかなわないことにはならない、小規模校だから何もできんとは思わんとってください。それが一つ。芝生化のことについては、私就任させていただいてから始めさせていただいてますけども、関心のある方は坂本幼稚園、松山市の久谷にある幼稚園です。「坂本幼稚園 芝生化」って入れていただいたら出てきますので見ていただいたらと思います。初年度は坂本幼稚園、山越保育所そして石井保育所でやらしてもらいました。平成24年度、今年は5ヶ所でやります。おかげさまで広まってきてます。どんな点がプラスだから学校や保育園、幼稚園の芝生化をするのかというと、だいたい5つのメリットがあるんですけども、芝生の上で裸足で動いてまいりますので運動能力の向上につながる。コミュニケーション能力の向上につながる。子どもは子ども同士で遊ぶときに、僕はこんな遊びがしたい、いや私はこんな遊びがしたいというんで遊びを主張する。遊びがぶつかるとう我慢するとか、決断するとか、工夫するっていうのでコミュニケーション能力を遊びの中で鍛えてるんです。その芝生の上で子どもたちが遊びますからコミュニケーション能力の向上につながる、熱中症対策になる。近所の方が砂ぼこり心配ですから、4つ目が砂ぼこり対策、そして5つ目が、一番大きいのが、芝生化ってついついゴルフ場の芝生を連想するんですが、子どもらが遊ぶ場所ですからゴルフ場まできれいにせんでええんですよ。雑草が少々生えとってかまんです。鳥取方式という繁殖能力の高い芝生を使います。で、これが肝心なんですけども専門業者さんが植えるんじゃなくて保護者の方、先生、地元の方と一緒に植えていただきます。なぜかという地元で子どもを育てる体制にしていきたいからです。芝生植えると芝生に関心がわきます。地区の方と芝生と一緒に植えてもらおうと、芝生育つとろうか、芝生のことがひいては保育園とか地区の学校に関心がわいてきます。次の段階に行くと、そこで育

っていく子どもたちに関心がわいていくんです。かつては地区で子どもを育てる雰囲気がありましたけど、これです。地区で子どもたちを育てる雰囲気づくり、芝生化にはそういう利点があります。ですので地区のご協力を得られないと、この芝生化はできないんです。で、もう一つだけ、芝生はある程度生えていく段階では水を多く与えないといけない時期がありますので、水の確保ができるところは必要になります。こういう条件の整ったところには、手挙げ方式でやっておりますので、難波小学校でやりたいって皆さんの声が高まれば、またできることがあると思いますので、地元の方々と一緒に話し合っていたらと思います。

【男性】 先ほどから難波のすばらしいところ多々述べていただいたんですけど、それを有効に活用して活性化さすいうたら、やはり他地区からたくさんの方が来ていただかんことにはなかなか活性化にはつながらない。そのために20年くらい前から考えとったんですけど、松山市街地から波妻の鼻、庄の水辺公園あたりにサイクリングの専用ロードで親子サイクリング大会。野志市長先頭にして、県知事にも一度か二度参加していただけたらかなりの人が集まるんではなかろうかと。でそれで解散にして、先ほど言ったようなところに皆さん三々五々行って昼食をとっていただくということを考えとんですけど。できたら海岸線を使っていたらよろしいんですけど、国とか県とかほかの行政の絡みもあるでしょうけど前向きにご検討方お願いしたいと思います。

【市長】 はい、ありがとうございます。私から、実際に私も北条通らしていただきましたけれど自転車で、このあいだ台湾の世界最大の自転車メーカーの会長が来られたときに、愛媛県庁から風和里まで23キロ自転車で走らせてもらいました。正直、最初23キロって聞いてちょっと遠いかなって思ったんですけど楽しかったです。本当スポーツサイクルで走ると、残りの距離が少なくなってくるのが寂しいくらい楽しかったです。ファンになってる方が多いっていうのはわかりました。で早速動いたことがありまして、8月上旬に風和里のトイレの近くにスポーツサイクルを置けるところを15台程度つくりました。松山市役所の中にスポーツサイクルを専門的にやってる職員がおりまして、その意見を元につくりました。この後は、風和里もサイクルで休憩してもらおうとこにいいので、例えば空気入れとか応急用の補修用具を置くことができればと思っておりますので、そろえ

ていきたいと思っております。道自体に関してはご存知のように、中村知事がしまなみ海道をサイクリストの聖地にしたいと言っておりますので県もかなり前向きです。お金をかけなくても例えばブルーライン、青い通行帯のところだけ色を変えるとか、1キロずつに表示を置くとかは比較的金がかからなくてできると思いますので。それこそ国道の部分は国が管理してますし、県道の部分は県が管理してるんですけども、県は結構前向きですので、国や県とも話し合いながら、整備をしていきたい。もう松山市はできるところからやり始めているところです。イベントのことについて、できればこういうイベントについては地元で盛り上げていただくありがたいんですよ。行政が主体になってこういうイベントをしたいというのを押しつけとかっていうと定着しないケースがあるので、地元の方が主体になって、このルートでどうやろか、ここで休憩してもろてとか、地元の方から盛り上げていただけると、よりよいイベント、長続きをしていくイベントになった例が多いので。これは人任せにするっていうんじゃなくて、できたら地元の方で盛り上げていただけるとありがたいと思っております。また難しい点があったら相談していただけたらと思います。

**【市民部長】** 今、愛媛マラソンに正岡でだんじりやったりして一緒に盛り上がって、その風景がテレビで映されているんですけども、非常におもてなしになると思います。ですから、これからいろんな整備していきますけど、地元の方から「うちでやってや」いう声が盛り上がりますと行政としても進めやすくなりますので。外国では特にツール・ド・フランスとか有名なように、自転車競技が非常に盛んなんですけど、地元が受け入れてくると非常にいろんなもんが催しやすくなりますので、ぜひその場合は行政と一緒に協力していただきたいと思っております。

**【男性】** 若者の定住についてお尋ねしたいといえますか、お願いしたいということです。私の住んでるところは中通といいまして、約120戸くらいの小さな町ですけど、海と山に囲まれている風光明媚な美しいところですが、若者がだんだんこの中通から外に出ていってしまう、北条の旧市内、あるいは松山市ですね、出てしまう。この中身をいろいろ聞いておりますといろいろ問題はあるんですが、この中通だけではない難波全体に言えることではないかと思うんですが、いわゆる農業振興地域だということですね。わが土地を持っていながら家を建てられな

い、申請してから何年も経たんと家が建たない、こういう状態で、つつい松山市や北条のほうに出てしまうということが第一点。それから子どもの都合よりも親の都合で外へ出てることもなきにしもあらずですが、難波小学校でも70名ほどですが、こういう小さな小学校行くと親の負担が増える。確かにいろんな親の役職がいっぱい増えるわけです。それはかなわんということで、できるだけ多い小学校行かしたほうが親は楽だということがよく言われております。それともう一点、小さい小学校行くと、子どもの競争力がつかない、大きな小学校に入れてしっかり競争力をつくらんと子どもたちによろしくない。こんな理由が難波全体に出ておるということで、若い20代、30代の方が北条市内へ、あるいは市内のほうへ行ってしまおうという状況にあります。今現在、中通地区も中学生が一人もおられません。小学生も今年わずか一人しかおらんのです。こういったことで若者がだんだん減るということは、地区内の従来からあります文化、芸能、伝統行事、そういったものがだんだんできなくなるという状況になっております。これは中通だけじゃなしに難波全体でも言えることじゃないかと思うんですが、こういった事態を、教育現場で今どういうことが起こってるのか僕はよくわかりませんが、一人でも若い方が定住できるように行政の力をお借りしたいと思いません。よろしくをお願いします。

【市民部長】 今の質問ちょっと整理させていただきたいんですけど、農地、農振農用区域で家が建ちにくいということがまず一点と、教育問題として人口が少なくなって教育、子育てがしにくい、過疎化のためという二点でよろしいでしょうか。一点目私から。農地の開発についてですけど、多分事情については十分ご存知だと思います。農地に家建てる時には開発許可がいる、農地法上の転用許可がいるということで。通常の家住宅は建つけども、それでも農振農用区域で非常に厳しい規制があるところには建ちにくいという相談だと思うんです。これについてはほかの地域でも相談があるんですけども、今お答えできるのは、具体的な計画を持っていくと解決の方法できる場合がありますので、本当に大変だということを理解しとりますので、何か解決方法ないか、ぜひ役所のほうに尋ねていただきたいと思います。意外と簡単な解決方法出るかもわかりませんし、難しくてもどこか一緒に相談さしていただくことによって、また私らも一緒に悩ましていただけるのでしょうか。二点目の教育について、いわゆる過疎化になって

子どもが少なくなって子育てがしにくいというところについては教育委員会から。

**【生涯学習政策課長】** 失礼いたします。あんまりご期待に沿うようなお答えができるかどうか、過疎化といいますか、子どもさんの数が減っていく、地域の数が減っていくというところは、松山市内ほかのところにもあるんですけど、児童、生徒が少なくなってくるとPTA活動を行うにはやはり保護者の役割分担が増えてくるということはやむを得ない部分があると思うんですけども、教育委員会としては、少ないところは少ないところのよい点もあるのかなど。教育委員会で意識してるのは、地域でのPTA活動が盛んになることによって、地域の教育力が高まる。これは諸説あるとは思いますが、そのように思っている。地域の力が上がってくると学校活動、行事等を通じて子どもたちと地域の方々との多様な人間関係を築くことができると思っております。また学校面で申しまして、小規模校は、教職員が子ども一人一人に対して非常に目を行き届きやすい学習環境になってくる。少人数であるがゆえに、一人一人の個性に応じたきめ細かな教育ができる部分がある。そしてもう一つには少人数の学校によくあるんですけども、縦割り活動をやっておろうかと思えます。少子化時代で子どもさんが一人、もしくは二人という少ない家族環境の中で、縦割りの中で行なわれる教育活動は、子どもの人間性を養っていく上でもいい。兄弟姉妹以外での関係を構築することがよりよい友達づくりとか仲間づくり、そういうことができる利点かと。そして現在、松山市では少人数の規模の学校の子どもを、大勢の方とのふれあいをする機会とか、コミュニケーションを図る機会が少ないということも事実と思えますので、小規模校の学校間における交流事業を立ち上げて、小規模校がほかの学校と交流をし、コミュニケーション能力を磨いていこうといった場合に、できる限りの援助もさせていただいて、少ない面のマイナスな点も全く否定はいたしません。こういう利点もあるということでご理解をいただきたいと思っております。

**【市長】** 三好部長、農地の関係ですけど、こういうときはちょっと長くかかってしまう部分があって、こういうときだと結構早く認められる場合があると、本当に様々なケースがあるというのをちょっと。

**【市民部長】** 通常の調整区域であったら、自分の家族がほかに建てるところがないんでというときには比較的できるんですけど、10ヘクタール以上の広がりがある優良農地とかになりますと、やはり農業施設等の利用の問題もありますし

非常に難しいところもございます。その方がただほかに何とも全然ないんよと言った場合については、農業委員会がそのあたり助言もできると思いますので、やはりこのあたりは思い切ってぶつかって、こういうとこ困るとんよ、どこにもないよという事情話していただけますと、解決策が出る場合もあると思いますので、粘り強く相談に来ていただきたいと思います。役所はそんな怖いところじゃございませんので、相談にきていただきたいと思います。

【男性】 市道の改修について、せっかく準備してきましたので言わせていただきます。一つは昔の県道の鴻之坂線の入り口ですが、私らが子どものころは全部両側が水田やった。今はもう宅地、工場、いろいろ畑になって全部地上げして同じ高さになっております。それでのり面が多いので車が1台通るほどしか舗装しておりません。用地の買収なしで、その側面を利用しただけで舗装して、今は車が向こうから来ただけで待ちよらないかん状態ですが、スムーズに通れるようになってほしいので、一度見にきていただいたらと思います。そして舗装の拡張をしてもらいたいと思います。もう一点、下難波、石風呂、大浦の市道ですが、片一方がJRの用地で片方が宅地で、両端が一方が石風呂川の堤防で高く100メートルぐらいの間がものすごい低いので、5ミリか7ミリ雨が降っただけで池みたいな水たまりになります。その端のほうに別の川の樋門が通っております。そこにマンホールがあるので、そのマンホールまで10センチか15センチのふたつきのトラフを埋めてもろたらスムーズにはけるとと思います。それも見ていただいて、できるんじゃないたら両方改修してもらいたいと思います。

【都市政策課長】 また後ほど場所を教えてください。どのようなことでも結構ですから、直接市役所に電話いただいてもすぐ対応はできますので、何なりとこのタウンミーティングの席以外でもいろいろ意見、ご要望を教えてくださいと思います。後からまた場所確認させてください。

【市長】 私から一言、このタウンミーティングは、せっかく難波に来ておりますので、難波に関わることだったらざっくばらんと言っていただいたらと思います。我々さっと帰るわけではありません。道路の関係は白石都市政策課長が担当ですけれども、ここの場所なんよって言ったら、必ず課長自ら、都市政策課の職員もまた行っておりますので、現場確認からまずは行っておりますので、終わったときに言ってください。追加して、さっきの農地から宅地への転用の話ですけ

れども、今、市で悩んでおるのが耕作放棄地の関係です。そこでどうしても関わってくるのが農地法です。農林水産省は食糧の自給率、カロリーベースでいいますと日本は40パーセントしかありません。もしいざ何かあったときに、食糧自給率が低いのは問題だと思imasるので、食糧自給率が40パーセントっていうのは問題だと思imas。農林水産省ができるだけ農地を確保したいっていうのはわかる、でもそれが耕作放棄地を何とかしたいときの、正直手かせ足かせになってるんですよ。国で一律に決めるんじゃなしに、場所によっては制限を変えるとか、もっと地方に任せてくれんかっていう思いがあります。これ農地から住宅についていう話と絡むかと思うんですけど、同じ思いのところがあります。先ほど白石課長が言いましたけれども、昔の役所はなかなか動いてくれん、なかなか我々の声が届かんというのがあったかと思imasんですけど、私はそれを解消するために出たんです。もっと距離を近くしたいと思って出たんです。ですので、このタウンミーティングもやってます、今度の土曜日には支所の窓口の対応コンテストもやります。とにかく市民目線を変えていきたいんです。だから皆さんもイメージで「市役所ってこんなとこやけん、もう相談もせんとこ」じゃなくて、相談してみてください、変わることもあります。ぜひ相談してください。もし対応の悪い職員がいたら、市長へのわがまちメール制度もありますので、どうぞ市役所を使ってください。

**【男性】** 先ほど市長が農業のこと言われましたので、発言いたします。まずはじめに北条松山バイパスの工事が出ました残土置き場、広いスペースを持っています。今そこの使い道は決定されているのかどうか、それを聞いた後に質問させていただきたいのですがよろしいでしょうか。

**【市長】** 皆さん地元ですからご存知ですよ、リフレッシュパークのことは。北条スポーツセンターの上に、北条のバイパスをつくるときにトンネル掘りました。どうしても土が出ます、その土を利用して埋め立てたので、今土地ができています。そこをリフレッシュパークと言うんですけども、何に使ったらいいかという審議会がありまして、スポーツ施設に使うべき答申が出されております。もうそろそろこういう形で使うというのが出せるところまで来つつあります。あそこは北条スポーツセンターの体育館も新しくなりました。陸上競技場とかフットサル場とかサッカー場とかいろいろありますんで、一体となって使える施設に

なればと思っております。市長ははっきり言うてくれんと思うかもしれませんが、いろんな人と関わるところがありますのでもう少しで発表できるかと思いません。

【男性】 防災避難についてお伺いします。東日本大震災以降、各地とも防災意識が非常に高まっております。当大浦地区は海岸に面しております。海拔表示マップによると国道196号で低いところで海拔1メートルとなっております。国道に沿って住宅が密集して、海拔1メートルから2メートルという住宅が集落の約6割を占めております。そういった関係で津波に対する危機意識が非常に高まっております。難波地区でも昨年に引き続き大規模な自主防災訓練を行いました。その中で大浦区住民から北条スポーツセンターに立派な体育館ができて、あそこを避難場所にしてもらえないかという意見が多数寄せられました。難波地区の避難場所は難波小学校体育館になっておりますが、大浦から徒歩で約40分くらいかかります。要援護者の避難となると大変と思っております。また大浦区住民のみならず、大浦区には不特定多数の人が集まる施設、道の駅風和里、海水浴場、そしてJR大浦駅があります。もし地震が発生し、大浦駅に電車が緊急停車したときに土地勘のない乗客は難波小学校はどちらの方向にあるか全くわかりません。スポーツセンター体育館ですと徒歩で10分もあれば避難ができます。また風和里のお客さん、今年も大変にぎわってございました。こういうときに地震が起こりますと、皆さんほとんどの方が車で来られております。一斉に非難しますと国道196号は大渋滞がおきます。そういう関係でスポーツセンターを避難場所にしていただけないかということです。以上です。

【消防局企画官】 ご説明させていただきます。避難所ですが、学校とか公民館とか一定期間の生活ができる施設を避難所として指定してます。もう一つは一時避難場所といいまして、緊急避難的に命を守るために公園とかグラウンドとかに避難する場所と、2種類を避難所として指定しているんですが、スポーツセンターにつきましては、避難所としては指定しておりません。こういった大きい施設は今の段階で、市民会館、中央公園の武道館、総合コミュニティセンター、こういった施設と同じ扱いで、全国からの救援物資の集積場所であったり、緊急消防援助隊、全国から来る援助隊とか自衛隊の集結、活動拠点として利用するために確保しているんですが、緊急避難的に、北条のスポーツセンターのグラウンドと

か体育館を津波の非常時に活用をするというのであれば、災害の規模とか時間帯とかの調整を大浦の自主防災組織の会長さんとか連合会長さんとかと話をさせていただいて、こういった災害のこういう場合に使用してもらいたいということ話し合っただけで決めさせていただいたら、使えるようになると思いますので、前向きに検討させていただきたいと思います。小学校とか指定避難場所と違う取り扱いをしているヘリポート、ヘリも離発着するところで危険も伴いますので、大規模災害になったときには、またほかのところに移動してもらわないかん場合も生じてきますので、一時的に避難するとか、台風の一時期に避難するという場合でしたら使えるようにできると思いますので、調整を消防の北条支署等とさせていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 先ほどの関連質問ですが、8月11日、難波地区全体で避難訓練を実施しました。難波小学校が最終の避難場所として、約270名の方が集まっていたので避難訓練をしたんですが、小学校は270名でもう満杯です。難波の人口は約2,100人ぐらいだと思いますが、大災害が起きるととてもじゃないが難波小学校に入りきりません。今、大浦から、体育館を使用してほしいというお話もあったんですが、私からは、農林水産研究所にも大会議室がありまして、300人やそこら入るんじゃないかと思います。これは県の施設ですから市の方すぐに返事できんかもわかりませんが、県にぜひお願いしてもろて、大災害のときには農林水産研究所の大会議室を避難場所として指定をして使わせてほしいと、このようなお願いを県のほうにもしてほしいというお願いです。

【市長】 これ私、知らないところを教えてくださいました。そんなに大きな会議室あるんですか。

【消防局企画官】 まず、災害時の避難ですが、今訓練で最悪を想定して全市民が避難しなければならないという形で訓練をしていただけてますが、想定範囲では松山市では、今のところ避難者が避難所に避難していくのは10万人と想定しております。そういった数字の中で、今避難所の設定をしている段階ですが、その住民の人数を収容できないという場合には、行政からもそういった施設をお願いには行くんですが、五明地区では地元の自主防災組織が積極的にゴルフ場の建物とか病院とかと話し合いをしていただけて、覚書を交わして、緊急時には避難所に使わせてくださいという方法もありますし、私どもが直接県に会長さんと

同行して、話を進める方法もありますので、調整させていただいたらと思います。

【男性】 各地区の集会所が避難場所にもなっているんですけど、今想定されている地震が起きましたら、難波の各地区の集会所はまず使えませんというほど耐震構造以前の建屋で、そのあたりの集会所、防災無線とかの機器も新しくしていただきまして、唯一の他地区からの情報源になりうる場所ですけれども、建屋が壊れてしまったんでは緊急無線も何もあったもんじゃない。お金もかかることなんですけど、少しずつ古いところから何らかの検討をお願いしたいと思うんですが。

【男性】 住宅周辺の環境について、いずれほかの地区においても類似した内容が出てくるのではないだろうかと思ひまして述べさせていただきます。私の周辺は、以前は5戸の民家がありました。時の経過とともに2戸が屋敷跡となり、1戸が空き家になっております。そのうちの1戸は地区に住んでおられ、定期的に草刈り等していただいておりますから何ら問題ございませんが、少し上にある民家がずいぶん前に転出されております。それでも草は伸び放題、石垣はもうがたがきて大雨、地震等々でびくびくした状態ですけれども、隣接する方が市役所に出向きまして、地番をもとに所有者を断定してもらいたいと伺ったそうですけれども、個人情報関係でまかりならないといったことで、それで先祖のお墓があるからお彼岸、お盆に極力気をつけてお参りに来たときに会おうやということなんですけれども、昼はなかなか来ない、が朝行くとちゃんとシキビは立つとる。そういった転出した人への安全対策を行政を通じてやっていただけるかどうか、それともう一点は空き家ですけれども、もうすでにたるきは腐ってかわらは落ちております。雨どいの外へかわらはぶら下がるとるということで、平常は何もないですけれども、台風時あたりは上を見ながら歩かないと自分の屋敷にも道路を通れないような状態です。この方は北条地区においでるからお会いすることもできるんですけれども、なかなか面と向かって安全対応してくれとは言えません。そういった場合、行政を通じて、あまりことを荒立てることなく対応していただける方法があればご指導いただきたいわけです。いずれ同じような事案が出てくるのではないだろうかと思ひまして、意見述べさせていただきました。

【市長】 そんなに気を使わずに、ざっくばらんに言うてください。ありがとうございます。空き家対策、都市政策。

【都市政策課長】 空き家対策につきましては、タウンミーティングでいろんな地区から出ております。また現在、年間でも二十数件の問い合わせがございます。その中で市役所に場所とか言っていただければ、所有者も確定します。それで文書なり直接お会いするなり指導等は行っていきたいと思っております。また、今現在行っております。

【男性】 それと屋敷跡の関係。そういう場合にでも個人情報関係で教えていただけなかったということなんですけれども。

【都市政策課長】 市で調査することは可能ですので、所有者はわかると思いません。

【市長】 所有者のことを市民の方にお教えすると個人情報保護の観点でまずいんですけども、我々が把握して我々で郵送してコミュニケーションとるとか、会うということについてはやるということになります。なかなか市民の皆様にはお伝えできない。この個人情報でも結構難しいですね。

【男性】 河川水路課になろうかと思えますけど、中通と上難波との境に、道路が走って、そのすぐ西側に幅50、深さ60くらいの水路が走ってるんです。それは高土手から宝地池までかなり長い水路なんですけど、もともとは北から南に流れよったものが、県の試験場ができた後、水がものすごく少なくなって、私らの親時代から南から北に流すようになった。かなり古い水路なんで毎年1区間ずつくらい直していただいているんですけど、なかなかからちが明かない。小さな水路ですが、中通にとってはかなり重要な水路なんです。それをできるだけ末端のところまで持ってきよるんですけど、なかなか水量が賄えない。幅を広げたらいいんですけど、土地を提供してもらわなければいけない。底は深くできない。かさ上げをしてほしい。それに問題があるのが、市道より田んぼ側を高くはできないという規制があって、それ以上かさ上げができない。市道のほうもかさ上げをしたら、全体がかさ上げできて水量が流れる。もともとが北から南に流れてたので水の取り入れ口の南側に堰板が入る溝を掘っているんです。

【市民部長】 終わってから場所をお伺いしまして、申請していただいているとの関連性なども調べさせていただいて、さっそく持ち帰って検討させていただきます。

【男性】 先ほど言われてたのに関連するのですが、風和里から俵原池のところ

まで公園区域になつとるわけですが、難波は果樹園農家も多く、補助事業の場合、公園区域は対象外ということが多々あるわけですが、今、公園区域にしていだけだけのメリットがあるのか。私個人では、風和里の裏、公園区域ではなく風和里の続き、スポーツセンターの続きで開発したほうがいいのではないかと考えております。ご意見お願いします。

【都市政策課長】 公園区域、都市計画法に基づきまして、将来、公園整備を行う場所を計画しているわけですが、範囲がかなり広くございます。そういう計画すると、例えば、建築する場合に2階までとか、鉄筋コンクリートはだめですよとかいう制限がかかります。制限がずっとかかりますと市民の皆様に対して負担が起きます。そういう中で松山市では、緑の基本計画、松山市全体の緑の見直しを行っているところです。今回の北条公園につきましても検討箇所として検討させていただいておりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。

【市長】 難波に来るのに何にも勉強もしてないのも失礼だと思ったので、調べてきたんですけど。40年前くらいの計画なんですよね。計画の見直しでいうと素鷲地区でも計画の見直しをするようなことありまして、やはり、何のための計画か、逆に足かせになってるようだといけないと思いますので、見直していきたいと思っております。

【男性】 公共下水の件についてですが、合併以来、管が拾いにきてくれない、庄は水道屋さんのお世話で合併浄化槽ができるという形になっている。管が来ないうちに合併浄化槽ができると、管が来てからやったら「わしはそれに取りつけんよ、じかに放流しますよ」という形になるんじゃないかと思うんですけど、上難波と庄に入ってくる時期はいつごろになるのか、もういかんのやったら、合併浄化槽へ地域全体を抑えていかなければいかんと思います。そこらの判断をお願いします。

【市民部長】 大変計画が遅れてるのでいつになるんかというお尋ねですけど、現在北条地区、徐々にですけど進めております。難波地区は、現在計画区域149ヘクタールのうち83ヘクタールが整備済みで、56パーセント進んでおります。下流のほうから徐々に高いほうやっていってるので、高いところについてはいつになるのかという、本当に歯がゆいとかお叱りいただいて申し訳ございませんが、どうしても下のほうからやっていきますので、もう少しお待ちいただ

きたいということ。

【市長】 これは市の全体的な方向になりますので、私から説明をさせていただきます。下水道の計画は、平成6年には1年間で160億円を投資して松山市に下水道どんどん広げていきたいと思いますという計画を立てております。それが経済が悪くなって、このまま進めると下水道の計画が充実しすぎるということで、平成12年には半分の80億円程度に縮小をいたしました。それでも厳しくて、平成19年度には1年間で65億円という二度の見直しを行ったということです。人口が多いところは下水道を普及させよう、下水道と合併処理浄化槽の2本立てで行こうと考えております。

松山市の財政について説明をいたしますと、松山市の1年間で出ていくお金で一番大きなウエイトを占めるのが民生費、いわゆる福祉にかかるお金です。土木費とか人件費とかいろいろあるんですけど、福祉にかかるお金が一番大きいんです。この福祉にかかるお金が松山市だけで、1年間だけで50億円増えた、こういう現状です。生活保護費も民生費に含まれます。生活保護費も松山市だけで、1年間だけで、決算ベースで15億円増えたんです。何が言いたいかというと、今、国においては1千兆円の借金を抱えると言われます。国から地方交付税交付金とか国庫支出金ということで地方へお金が回ってくるんですけど、大もとがそれだけ借金抱えてるんですから、当然地方へ回ってくるお金が膨らむというのは考えにくいですよ。例えば福祉に関するお金が50億膨らんだら、どこかで50億絞らないと財政のバランスは保てない、下り坂になってしまう。生活保護費が15億増えたらどこかで15億絞らないと下り坂になってしまう。こうやってタウンミーティングさせていただいて、各地で皆さんから「市長これやってや」「あれやって、これやって」言われますので、できたら「わかりましたあれやりましょう、これやりましょう」って思います。そうできたら楽なんですけど、以前の高度経済成長の時代だったらそれもできたと思います。箱物行政という言葉もあったくらいですから。でもそうやってしまうと、もちろん必要なものはつくりますけど、皆さんの声をしっかり聞いて優先順位をつけなければならないと思っています。要望言ってもらって「それやりましょう」って言ったら、市長の人気取りだけ考えたらそっちのほうが私は楽です。でもそれをやってしまうと、将来の松山の子どもや孫にツケを残してしまう話になるんですよ。ですから全体の財

政を見て、皆さんのところ出かけて行って、お話聞かせていただいて、やっぱり今これをやるべきだという優先順位をつけるためにも、皆さんに声を聞かせていただきたい。財政のバランス見ながらやっていかなければならないという、これは松山だけでなく、どこの地方自治体もそんな悩みを抱えていますけど、こういう状況にあるということを皆様にお知らせをいたしました。これ言うと、皆さんから手が挙がりにくくなるんですけど、声を上げてもらうことが大事ですので、よろしくをお願いします。

【男性】 5年後に国体が開かれます。地元のスポーツセンターも会場になっていると思います。現在も大浦駅からスポーツセンターまでの通行が非常に多い割に道路が狭くてものすごく危険である、今年度特設防犯灯もつけたわけですけど、その間の避難道路としても使いたい、道路拡張工事の計画はありますか。

【都市政策課長】 平成24年度から測量設計、用地調査を行います。そういう関係で、各地権者のご協力が必要ですので、ご協力もいただいて、少しでも早く事業を進めていきたいと考えております。

【男性】 国道のスーパーマルナカのところの信号ですが、北条市内へ行く車がちょっと止まったら、すぐ松山へ行く車に影響してあそこは渋滞が激しいんです。北条行きの車が止まっても松山市行きの車が進めるように国土交通省に働きかけてもらって、余分な待ち時間がないようお願いをしてもらったらと思います。

【市長】 旧道の北条の街中向いていくほうの話、後ほど場所を確認させていただいて。信号のタイミングを変えるとか、警察に言ったりとか方法はありますので、場所を確認させてください。

【男性】 松山市が提唱しているまちづくり協議会についてお聞きしたいと思います。既に何回かまちづくり協議会について研修させていただいて、高松が先進地ということで視察行かせてもらったんですが、高松は、公民館活動を中止させてまちづくり協議会に切り替えたということでわかりやすいと思ったんですが、松山市では、公民館活動は依然として公民館活動、まちづくり協議会は別にやろうと言っているんですね。先般、研修会をしたときに愛媛大学の先生が来て、まちづくり協議会とはこういうもの、公民館は、言葉は悪いけど余計なことまでしていると。それを排除してまちづくり協議会でやる、こういう言い方をしたんです

が、私ども難波地区の公民館は余分なことしよるとは思いませんし、地区の住民の意見を十分吸い上げて、しっかり公民館活動やっていると思うんですが、先生はそういうふうにおっしゃいました。それならそれで、松山市のほうでしっかり交通整理していただかないと、いまだにまちづくり協議会が何たるかを、今日来た方ほとんど知らんと思うんです。それは、我々役員がしっかり腹入れしてないから末端におろせないんだと思います。たぶん地区の役員の皆さん知ってると思いますが、一般の方はほとんどまちづくり協議会が何たるか、難波地区の方ほとんど知らんと思います。そういう点でも、今日、まちづくり協議会が何たるかを説明して、いずれ難波地区もまちづくり協議会進めなければならないと思いますが、一人でも多くの方にこのまちづくり協議会を知ってほしいということで質問をしたんですが、松山市のほうも、いまだに私まちづくり協議会が何たるか腹入れをせんのですが、公民館活動との整合性はどうかのかがわかりづらいところがあるんで、そこら辺をしっかりと交通整理して説明してもらいたいと思います。

【市長】 今おっしゃられたまちづくり協議会というのは、もっともっと地元で主体となってまちづくりしてもらいましょうという会です。それは最初に申し上げたように、地区の魅力を一番わかっているのは行政ではなくて、そこに住んでいる皆さんがその地区の魅力を一番知っている。その魅力を活かしたまちづくりができれば、そのまちはより輝くと言えらると思います。今、松山市内には10地区でまちづくり協議会できてます、あと2地区準備会でまちづくり協議会になろうと、合計12のまちづくり協議会の動きがあります。で、そういういい組織ができれば、市役所から財源とまちづくりの権限をお渡ししましょうというのが平たく言うとまちづくり協議会という組織です。

【市民部長】 今、愛媛大学の先生と地域の中でアドバイスさせていただいてるんですけど、その中で先生は一般論をお話させていただいております。ところが旧松山市は公民館が生涯教育という観点からいろんな地域のコミュニティ活動を吸収してやってきた経緯がございます。旧北条市、私も正岡とか北条とかまちづくりで説明来ているんですけど、コミュニティ活動というのは当然、区長会、いわゆる自治組織が公民館と一緒にまちづくり進めている。そういうふうに、旧松山市と旧北条市が一体でないのも、その特性に応じたまちづくりやっていけばいいと思います。例えば旧松山市でも五明地区、700人くらいの地域ですけど、

ここ非常にへき地化してそのことを心配して、公民館活動というよりも自治会組織でまちづくりを考えていこうというのが既にできておりました。まちづくり協議会を立ち上げることになったんですけど、通常、規約づくりとかまち歩きとかやっていいところを探そうということをしてきておりましたので、準備会からまちづくり協議会立ち上がるの1年足らずでできました。今おっしゃったとおり、うちはもう公民館というよりもコミュニティ組織が既にできるということであれば、組織づくりとか、活動早く始まると思いますので、ぜひまちづくり協議会、地域における住民主体のまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。それを支援するためには、我々力を振り絞って支えますのでよろしくお願いします。

【市長】 まちづくり協議会、皆さんだけでやってくださいというのはしんどいところあると思います。市役所にはボランティアのサポーターもあります。それぞれの地区に行かしていただいて支える人間もおりますので、皆さんだけでやってくださいというものではありませんので、ご相談いただきたいと思います。

今日は、私が話すケース多かったと思うんですけど、途中で申し上げましたけど、市役所はいろんなところと絡むことがあって、私ももどかしいと思うこともありました。でも旧態依然とした体制から今の時代に合った組織にしていけないといけないと思ってこのタウンミーティングもさせていただいておりますし、また、市長へのメール制度も設けておりますので、至らぬ点があったら言っていただいたらと思います。市役所は市民の皆様の役に立つところ、そうじゃなきゃいけないと思いますので、いろいろと相談していただいたらと思います。また、今日のご意見をさっそく持ち帰らせていただいて、1カ月をめぐりにお答えをさせていただきますので、今後とも皆様と前向きな話し合いができればと考えております。どうぞよろしくお願いします。今日はありがとうございました。

— 了 —